

NEWS

向日市天文館 ☎ 935-3800
〒617-0005 向日町南山82-1プラネタリウム秋番組公開
地球に一番近い星「火星」にせまる

「MARS」 地球・生命・火星

■投影期間 10月3日(土)~12月26日(土)

■投影時間 火・水・木…午後2時30分・4時 土・日…午前10時30分・午後1時・2時30分・4時

■観覧料 大人200円、小・中学生100円、幼児無料

スターライトシネマ
ディズニーのSFコメディ「ロケットマン」

- 日時 11月6日(金)午後3時・5時・7時、11月7日(土)午後5時
- 料金 無料(要整理券)
- 整理券 10月1日(木)から天文館で配布(1人2枚まで)

天体観望会

天体観測室には、コンピューター制御で天体を観測できる40cm反射望遠鏡が、星見台には、25cm・20cm反射望遠鏡等があります。月2回の観望会では、毎回のテーマで観望します。申込みは、10日前までに往復はがきで天文館へ申し込んでください。

10月28日(木)	午後7時~9時	土星と秋の星座
11月11日(木)	午後7時~9時	二大惑星と流れ星

GIFT

京都府長岡京記念文化会館 ☎ 955-5711

京都府古典芸能振興公演
舞踊秋の名流選

- 日時 11月14日(土)
午後1時30分開演
- 場所 京都府長岡京記念文化会館
- 入場料 3,000円(全席自由)



プレゼント チケットを10名様に差し上げます。官製はがきに、住所・氏名・年齢・広報むこうの感想を記入のうえ、〒617-8665 向日市役所秘書広報課広報係までお送りください。(10月15日㈭必着)

INFORMATION

向日市菊花展開催

- 日時 10月31日(土)~11月6日(金)
- 場所 市役所玄関前広場
- 対象 市内で菊を栽培している方
- 搬入 10月30日(金)午前10時まで
- 搬出 11月7日(土)午前10時まで

※優秀作品には市長賞等を贈呈します。参加賞もあります。

第21回市民音楽祭

京都フィルハーモニー室内合唱団と市民がサンタルチアなどを共演
11月3日(祝)午後1時30分
入場料500円
市民会館ホール

第1部

コーラスグループ発表

第2部

女性合唱曲「ホームソングメドレー」(サンタルチア、帰れソレンソヘ)

出演

向日市民合唱団

京都フィルハーモニー室内合唱団



チケット発売所

市民会館・各地区公民館・かどや(阪急東向日駅西口)・山口タバコ店(阪急西向日駅西口)・ワンダーランド(JR向日町駅前)・ラクセース2階チケット売り場

■お問い合わせ 市民会館 ☎ 932-3166



前方部の先端で見つかったふき石と円筒はにわ。その1つは埋葬施設であるはにわ棺としてつかわれていた



↑乙訓地方では産出しない安山岩を使い、丁寧に積み上げられた前方部の堅穴式石室



全長は95メートル

6月から調査を行っていた寺戸大塚古墳の全貌がわかりました。

西ノ岡丘陵の竹藪にあるこの古墳から、古墳時代を知るうえで、大きな発掘成果が得られました。

寺戸大塚古墳は、向日市寺町芝山の竹林にある古墳時代初め(4世紀前半)の前方後円墳です。この古墳は大正12年(昭和43年)まで、京都大学などによって5回の調査が行われきました。後円部と前方部に長大な2つの堅穴式石室をもち、中国製三角縁神獣鏡(さんかくぶちじんじゆうきょう)など多様な副葬品をもつことで、全国的に有名な古墳です。

今回の調査は、昭和43年の調査から数えて30年ぶりの本格的な調査となりました。これは、古墳の大きさや形を正確に知ることでした。まず、前方部のほぼ中央で長さ約5・3m、幅0・8mの堅穴式石室が高さ0・5mほど残っておりました。天井石など

石室の上半部は失われていて、奈良県産の安山岩で組まれた壁石や木棺を安置するための粘土の台が良く残っています。石室内からは新

たに鐵刀、鐵鎌、銅製の矢じりも出土しました。古墳の南端ではふき石、はにわ列が発見され、古墳の全長が約95m

12年(昭和43年)まで、京都大学などによって5回の調査が行われました。後円部と前方部に長大な2つの堅穴式石室をもち、中国製三角縁神獣鏡(さんかくぶちじんじゆうきょう)など多様な副葬品をもつことで、全国的に有名な古墳です。

寺戸大塚古墳は、向日市寺町芝山の竹林にある古墳時代初め(4世紀前半)の前方後円墳です。この古墳は大正12年(昭和43年)まで、京都大学などによって5回の調査が行われました。後円部と前方部に長大な2つの堅穴式石室をもち、中国製三角縁神獣鏡(さんかくぶちじんじゆうきょう)など多様な副葬品をもつことで、全国的に有名な古墳です。

寺戸大塚古墳は、向日市寺町芝山の竹林にある古墳時代初め(4世紀前半)の前方後円墳です。この古墳は大正12年(昭和43年)まで、京都大学などによって5回の調査が行われました。後円部と前方部に長大な2つの堅穴式石室をもち、中国製三角縁神獣鏡(さんかくぶちじんじゆうきょう)など多様な副葬品